

各 位

会 社 名 株式会社ウッドフレンズ
代表者名 代表取締役 前田 和彦
(J A S D A Q ・ コード 8886)
問合せ先 取締役経理部長 伊藤 嘉浩
(電話 052-249-3504)

特別利益の計上、繰延税金資産の取り崩しおよび平成 27 年 5 月期通期業績予想の修正 ならびに期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月期において特別利益を計上するとともに繰延税金資産を取り崩すことといたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 27 年 1 月 9 日に公表しました平成 27 年 5 月期（平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日）の連結および個別の業績予想を修正することとしましたのでお知らせします。またこれにより、平成 27 年 1 月 9 日に公表した期末配当予想を修正しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

当社は、これまでの消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）について計算方法の検討・見直しを行い、今般、過年度分（平成 22 年 5 月期～平成 26 年 5 月期の 5 ヶ年分）につき減額更正されて消費税等の還付がある見込みとなりました。その会計上の取り扱いを慎重に検討しました結果、連結において 111 百万円、個別において 99 百万円を特別利益に計上することといたします。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は、税効果会計に係る会計基準に従って繰延税金資産を計上しておりましたが、平成 27 年度税制改正による法人実効税率の引き下げによる影響を考慮し、当期の業績と将来の利益見通しを踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、連結において 150 百万円、個別において 163 百万円の繰延税金資産を取り崩し、同額を法人税等調整額に計上することといたします。

3. 平成 27 年 5 月期通期業績予想の修正 (平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日)

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,449	672	396	185	126.09
今回修正予想 (B)	27,432	68	△150	△396	△270.21
増減額 (B - A)	△3,017	△604	△546	△581	
増減率 (%)	△9.9	△89.9	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成 26 年 5 月期)※	29,465	863	560	185	126.11

【個別】

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,146	173	112	76.34
今回修正予想 (B)	24,769	△343	△451	△307.90
増減額 (B - A)	△2,377	△516	△563	
増減率 (%)	△8.8	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成 26 年 5 月期)※	24,644	178	△27	△18.64

※当社は、平成 26 年 3 月 1 日を効力発生日として当社普通株式 1 株を 100 株に分割しております。

前期実績の 1 株当たり当期純利益は、当該期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

平成 26 年 4 月に実施された消費税率引き上げに伴う需要の反動減の影響により、当社の主力事業である分譲住宅市場において受注環境は厳しい状態で推移しました。当事業年度の後半には受注環境が回復すると予想して平成 27 年 1 月 9 日に通期業績予想の修正をいたしました。想定以上に厳しさが続きました。その結果、販売価格を見直して在庫処理を進めたものの販売戸数が予定数を下回ったことと、当期に予定していた収益型不動産の売却が次期に持ち越すこととなり、予定していた利益を大幅に下回る見込です。これらを主因として、上記の通り通期業績予想を修正することといたします。

4. 期末配当予想の修正

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年1月9日公表)	円 銭	円 銭 25.00	円 銭 25.00
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績※ (平成26年5月期)	0.00	25.00	25.00

修正の理由

当社は、株主尊重の意義の重要性を念頭に、株主への利益還元を経営の最重要課題のひとつと捉えております。業績の動向や経営環境等を総合的に勘案し、将来の事業展開に備えて財務体質の強化のため必要な内部留保と、バランスの取れた還元を実施する方針であります。

平成27年5月期の期末配当予想につきましては、今回、通期業績予想を修正することに伴い、誠に遺憾ではございますが、無配に修正させていただきます。

次期につきましては、主力事業である分譲住宅の商品力向上（販売価格、品質、デザイン）を図り、販売戸数を前期比で増加させ、徹底した工期短縮と原価管理により収益性も改善するよう努めてまいるとともに、収益型不動産の売却も予定しており、早期の業績回復と復配を目指していく所存です。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上